

審議会等の会議の概要の記録

会議の名称	令和4年度 第3回甲州市環境審議会
開催日時	令和5年3月14日(火) 午後1時30分～午後2時30分
開催場所	甲州市役所 2階 第1会議室
議題	(1) 甲州市再生可能エネルギー導入目標策定計画(案) (2) 甲州市再生可能エネルギー導入目標策定計画 概要版 (3) その他
出席委員	内田 智之 会長、瀧澤 康雄 副会長、 雨宮 正明 委員、荻原 雄司 委員、萱原 春美 委員、 藤巻 眞史 委員、日原 功 委員、手塚 喜久 委員
会議の公開又は非公開の区分	公開
会議を一部公開又は非公開とした場合の理由	
傍聴人の数	0人
審議概要	別紙のとおり
事務局に係る事項	環境課 4名(西嶋課長、廣瀬リーダー、土屋リーダー、窪田) 基礎地盤コンサルタンツ株式会社 5名 (西田、矢崎、南、伊藤、今城)
その他	

令和4年度 第3回甲州市環境審議会 審議概要（開催日：令和5年3月14日）

<p>内容</p> <p>1. 開会</p> <p>2. 会長挨拶</p> <p>3. 議題 （1）甲州市再生可能エネルギー導入目標策定計画（案）について</p>	<p>次第に基づき以下のとおり進められた。</p> <p>事務局開会</p> <p>○内田 智之会長あいさつ</p> <p>議長：内田会長</p> <p>○基礎地盤コンサルタンツ株式会社 前回からの追加・変更点について説明 質疑</p> <p>○会長 ・計画 P37 ソーラーシェアリングの記載が消えた理由は ・計画 P16 小水力発電導入の記載が削除された理由と、小水力発電を推進していく方向という認識で良いか。</p> <p>○事務局（廣瀬） ソーラーシェアリングについては、ヒアリングにより農協では導入を推進していないこと、市の導入状況や他市において問題が多く聞かれ、現状では実用性がないと考え除いた。</p> <p>○基礎地盤コンサルタンツ株式会社 頁の構成を組み替えた関係で、小水力発電の導入記載は該当頁から削除されているが、小水力発電の導入については冊子内で変わらず記載されている。</p> <p>○事務局（廣瀬） 計画内の2030年シナリオでも、県が作成した「やまなし小水力発電推進マップ」甲州市該当10か所の内20%の導入目標を入れているので削除はしていない。</p> <p>○会長 小水力発電について県・市のどちらが進めるのか。</p> <p>○事務局（西嶋） 「やまなし小水力発電推進マップ」は市町村にて小水力発電ができることを提示したもの。しかし、県が提案する場所の選定地が国立公園内等、本当に適しているのか市として疑問もある。県にもヒアリングしながら進めていく予定。</p> <p>○瀧澤委員 計画 P37 移動手段の低炭素化について、製造過程でのCO₂排出量を含めると、EV車の導入が脱炭素化への貢献とは現状言えないのではないか。</p> <p>○基礎地盤コンサルタンツ株式会社 大手の企業ではサプライチェーンでの脱炭素化についての考えが普及しつつあるので、EV製造過程での脱炭素化もこれまで以上に進んでいくことが期待されている。また、環境省の試算・</p>
---	---

<p>(2) 甲州市再生可能エネルギー導入目標策定計画概要版について</p>	<p>考えではEV車導入により市内の脱炭素化に貢献するので、計画には盛り込んでいる。</p> <p>○事務局（西嶋） 環境省では化石燃料由来から、再エネ電力への切り替え・活用が今後ベースになっていくという考えがある。よって、EVは脱炭素化も加速していくと考えており、EVの導入を計画に入れている。</p> <p>○会長 太陽光パネルが各家庭に設置できれば、再エネによるEVへの供給も考えられる。世界的には、ガソリン車が売れない流れがあるので、方向性としてはこの形で良いのではないかと考える。</p> <p>○瀧澤委員 計画 P45 の環境教育の対象者について、市民という記載、子供が含まれていないように感じる。子供を含むような記載が理想ではないか。</p> <p>○事務局（廣瀬） ご意見いただいた子供を含むわかりやすい表現に修正する。</p> <p>○基礎地盤コンサルタンツ株式会社 概要版について 質疑</p> <p>○藤巻委員 概要版は住民向けに配布されるのか。小学生でもわかるように、市民がどのように行動をしていけばよいのか、見える化すると良いと思う。例えば、対象者ごとに作成したりしてもよい。</p> <p>○事務局（西嶋） 現状の概要版は、住民向けの配布は考えておらず、今計画の集約として作成している。住民向けは、来年度以降検討していく。</p> <p>○荻原委員 LED化について等、施策ごとに力をいれて、予算を取りやすい形にしていく必要がある。</p> <p>○事務局（西嶋） 担当課でLED化について現状調査を含め外注している。来年度の予算も多めに取る予定で、導入等を進める予定。</p> <p>○萱原委員 広報誌に、ゼロカーボン等に関する実践した体験談、具体例を掲載・紹介するのがよいのでは。</p> <p>○事務局（廣瀬） 広報誌では令和4年8月から「ゼロカーボンシティへ向けた取り組み」を連載中（計画 P60～）。体験談等についての掲載も検討する。</p> <p>○会長</p>
--	---

<p>(3) その他</p> <p>4. 閉会</p>	<p>実際に実践した体験談等を周知することで、リアルに感じられてよいと思う。概要版については、絵のビジュアル面ではわかりやすいが、内容に関しては議会や担当者向けとなっている。今後、住民への配布を検討する際は、対象者が具体的にどのような行動をすべきかの記載も必要だと考える。</p> <p>○藤巻委員</p> <p>計画策定後、具体的に事業をどのように進めていくのか。</p> <p>○事務局（西嶋）</p> <p>まずは周知を最優先に考える。「さくらフェスタ」等でゼロカーボンロゴマークのグッズ配布等、市民に対してゼロカーボンの認知を広めていく。計画に関して、来年度は環境基本計画の策定もあるので、その中で具体化・修正しながら進めていく予定。</p> <p>○会長</p> <p>市民だけでなく、事業者はどのように進めていくのか。</p> <p>○事務局（西嶋）</p> <p>東京電力と話したりしている。他の事業者についても様々な取り組みについて、接点を持ちながら進めて行きたい</p> <p>○事務局（廣瀬）</p> <p>行政としては、市民文化会館の屋根上の太陽光導入を進めている。PPAモデルの導入は、ある程度電力を使用している施設でないと設置事業者が売電収益を得られないためどの施設でも設置できるという訳ではなく制約がある。家庭に関しては、ゴミの削減を第一の目標とし水切りやコンポストを周知していきたい。ゼロカーボンの告知は、イオンモールSDGsフェス、およっちょい祭り、講演等でノベルティグッズを配布し、周知していきたい。</p> <p>○藤巻委員</p> <p>興味のある人しか、ゼロカーボンに向けたイベントに参加しない傾向がある。実践する人が増えにくいので、地域の組単位での告知等に取り組みれば、より広がっていくのではないかと思う</p> <p>R5年度の事業予定の説明、ノベルティグッズ説明 市民会議の講演の告知</p> <p>○瀧澤 康雄副会長</p>
-----------------------------	--